

えがお
愛顔の

とくべつし えんがっこうぎのうけんてい
えひめ特別支援学校技能検定

テキスト

せい そう
清 掃

じ ざ い
ー 自在ぼうき ー



愛媛県イメージアップキャラクター

みきやん

え ひ め け ん き ょ う い く い い ん か い
愛媛県教育委員会

R7年度（12訂版）

じざい てじゅんひょう 【自在ぼうき】手順表

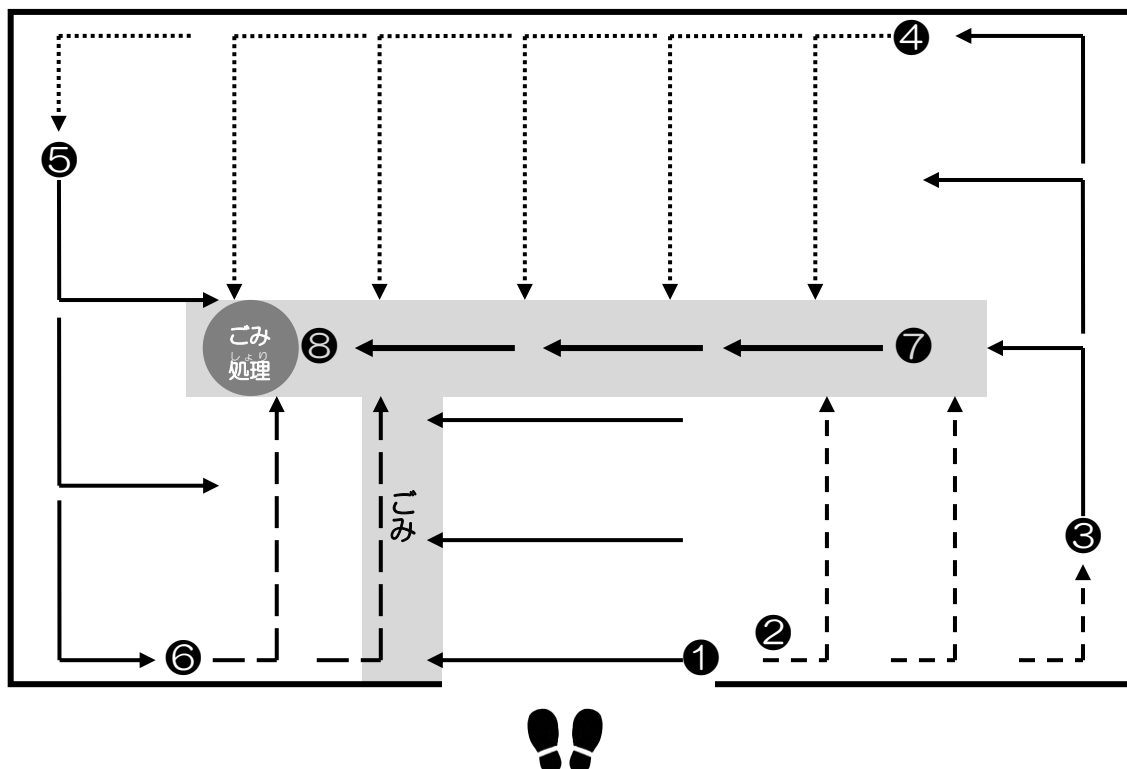
せいげんじかん ぶん
制限時間 6分

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうないよう 作業内容	しゃしん とう 写真・イラスト等
1 み 身だしなみ	① せいそう ふくそう 清掃にふさわしい服装をする。 ② せいけつ き っ 清潔に気を付ける。	
2 どうぐじゅんび 道具準備	① しんさいん ばん 審査員「〇番△△さん スタート位置にお立ちください。」返事をして、 スタート位置に立つ。 しんさいん じゅんび はじ 審査員「準備を始めてください。」準備を始める。 ② どうぐ かくにん た ほうこく 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。 さぎょうひょうじばん じざい □作業表示板 □自在ぼうき（45cm） ぶんか □文化ちりとり ③ じゅんび ほうこく 「準備ができました。」と報告する。	
3 さぎょうかいし 作業開始  にゅうしつあいさつ 入室挨拶	① しんさいん ざぎょう はじ 審査員「では、作業を始めてください。」 て あ はじ い 手を挙げ「始めます。」と言う。 ② さぎょうひょうじばん た 作業表示板を立てる。 ③ て と しつれい いちれい ほうきを手に取り、「失礼します。」と一礼して しつない はい 室内に入る。	
4 は さぎょう 掃き作業	① ① ていりぐち は 出入口を掃く。 ある かくほ 歩くスペースを確保 ② ②～⑥ へ や すみ じぶん こうほう は 部屋の隅を、自分のかかとのやや後方から掃き はじ はば き はな ぜんほう 始め、幅木から離れずに前方にまっすぐほうき をだ 出す。 ② つまき まえ だ まよこ つま先の前までほうきを出し、そこから真横に は えろ じ ば は こと ゆか 掃く。（L字掃き）ひと掃き毎に床にほうきを かる 軽くたたきつけながら進む。 はば き たい なな 幅木に対して、ほうきのヘッドが斜めになる。 ③ ⑦ ちゅうおう あつ いっ しょ あつ 中央に集めたごみを、一か所に集める。 ④ ⑧ ぶんか と い あつ かいしゅう 文化ちりとりを取りに行き、集めたごみを回収する。	  

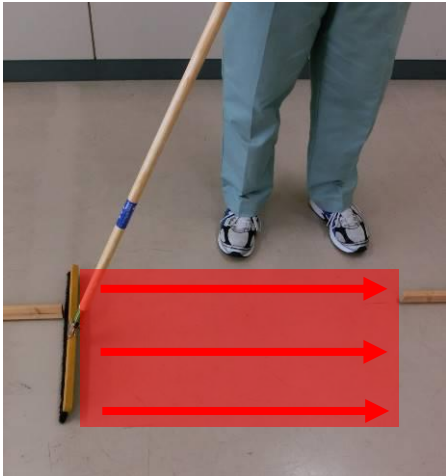
5	てんけん 点検	①	よすみ ちゅうおう 四隅と中央などに、ごみの取り残しがないか かくにん 確認する。	
6	たいしつあいさつ 退室挨拶	①	でくち しつない む しつれい 出口で、室内に向かって「失礼しました。」と いちれい たいしつ 一礼し、退室する。	
	かたづ 片付け	②	ほうき、ちりとりを資機材置場に戻す。	
		③	さぎょうひょうじばん しきざいおきば もど 作業表示板を資機材置場に戻す。	
7	さぎょうしゅうりょう 作業終了	①	スタート位置に立ち、手を挙げ「終わりました。」 ほうこく と報告する。	
		②	しんさいん 審査員に「ありがとうございました。」と挨拶 あいさつ する。	

《作業図：掃き作業の手順》

※番号は掃く方向の順 番 を表す。掃く回数は適宜変えて構わない。



【自在ぼうき】解説

1	※【清掃の基本】解説 ①身だしなみを参照
2 道具準備	※【清掃の基本】解説 ②道具準備を参照 
3 作業開始	※【清掃の基本】解説 ③作業開始、④入退室挨拶を参照
4 掃き作業	じざい も かた 自在ぼうきの持ち方  でいりぐち 出入口 

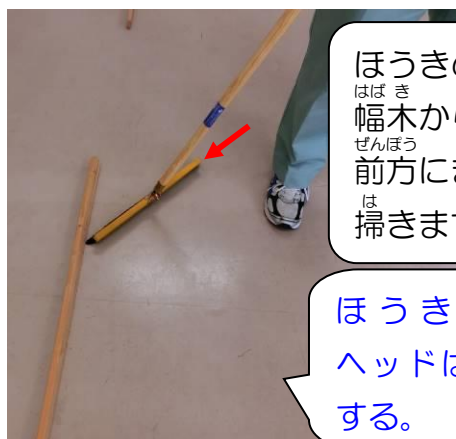
●反時計回りで作業をするため、左手が上、右手が下で、右手は順手に持ちます。また、柄の先端を左手親指で押さえます。これは、作業中に、柄が人に当たってけがをさせたり、窓や物に当たって壊したりするのを防ぐためです。

●自在ぼうきは左右どちらでも扱えるようになると、どのような場所でもきれいに掃くことができますが、基本として左手が上、右手が下の形を練習しましょう。

自在ぼうきの約束は「掃いた所を歩く。」です。まだ掃いていない床の上を歩くと、靴にごみがついてしまい、せっかくきれいに掃いても、そのごみがまた落ちてしまうからです。まずは、出入口を掃いてから部屋に入ります。

かべぎわ
壁際

■ 後方から前方へ掃きます。



ほうきの毛先を
はばき
幅木から離さず
ぜんぽう
前方にまっすぐ
は
掃きます。

ほうきの柄と
ヘッドは斜めに
する。

つま先の前まで
ほうきを出し
そこから真横に
は
掃きます。



- なるべくほこりを立てないように作業するために、押さえ掃きをします。
ほうきを振り上げるように強く掃くと、ほこりが舞い上がってしまいます。
※「押さえ掃き」とは、毛先を床から離さずに軽く押さえるように掃くことです。
- 毛先についたほこりを落とすために、ひと掃きごとに床にとんと軽く毛先をたたきつけます。掃き終わりよりも内側に毛先をたたきつける。(ごみの上にならないように)

- ほうきについたほこりを散らさないように、最初から最後までほうきの同じ面を使って掃きます。
- ほうきの柄を斜めにして、毛先だけが幅木や机の脚などに当たるように気を付けます。

すみ
隅

ほうきを斜めにし、
すみ隅を掃く。



すきま
隙間なく掃く。



からだ
体の向きを変えて次の
かべぎわ
壁際へ移動する。

4

掃き
作業ごみの^{しより}処理

ちゅうおう あつ
中央に集めたごみを、一か所
あつ
に集めます。

ただ かま
正しい構えでほうきを
もちます。(ほうきを
わき はさ
脇で挟む)



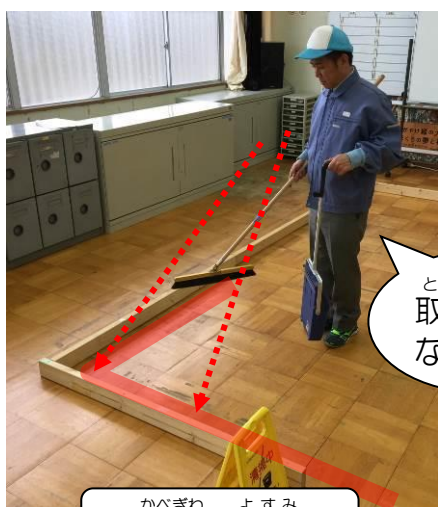
ぶんか なか
文化ちりとりの中にほうき
けさき はんぶん い
の毛先を半分入れるように
と
してごみを取ります。
ちりとりを一定方向に下げ
ながらごみを取ります。

けさき ぜんたい
毛先全体をちりとり
ぶつけるとごみが両端から
りょうはし
こぼれてしまいます。

5

点
検てんけん
点検

と のこ
■ごみの取り残しがないか点検します。



と のこ
取り残しなし。

と のこ
取り残し
なし。

かべぎわ よすみ
壁際、四隅



ちゅうおう
中央

※ごみの取り残しがあれば自在ほうきと文化ちりとりで取ります。

6 退室・片付け	●自在ぼうきは壁などに立て掛けず、床に寝かせて置くようにします。立てて置いておくと、誤ってぶつかったとき倒れて危険ですし、壁を傷つけてしまうこともあります。 ※道具の手入れについて⇒「豆知識1」を参照
7 終了	■仕事は、時間内に終わることが大切です。効率良く確実に清掃を終える努力をしましょう。

豆知識

1

日頃から、道具の手入れをしておくことも大切です。毛先にほこりがついていたり、毛先が割れたりしているほうきでは、きれいに掃くことはできません。道具が長持ちすることにもつながります。



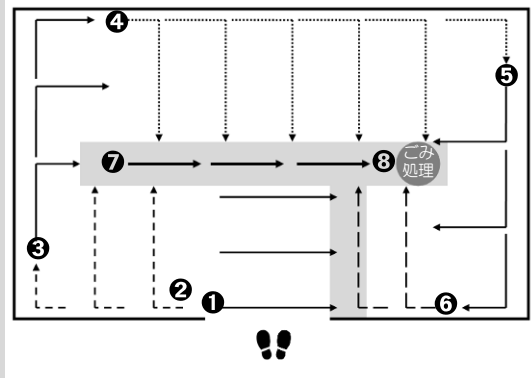
「毛かき」

ほうきの毛についたごみやほこりを取り除く道具です。

メモ

1

左利きの人で、反時計回りが難しい人は、持ち方と作業手順を反対にしても構いません。



愛媛県イメージアップキャラクター
みきゃん

【自在ぼうき】評価表

せいげんじかん ぶん
制限時間 6分

がっ 月 にち 日

	こう 項	もく 目	ひょうか 評価	びこう 備考
1	①	み 身だしなみを 整 えている。 ※身だしなみ評価表を参照		
準備 2	①	どうぐ 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。		
作業開始 3	①	てきせつ 適切な声の大きさや態度で作業開始を伝える。		
	②	さぎょうひょうばん 作業表示板を適切な位置に置く。		
4 掃き作業	持ち方	え せんたん おやゆび お いっぽう て じゅんて も 柄の先端を親指で押さえ、もう一方の手は順手で持つ。		
	掃き方	はば き 幅木に対してほうきのヘッドを斜めにして掃く。		
		ごみ を踏まないように、掃き進める。		
		お ば は お けさき ふ あ 押さえ掃きをし、掃き終わりで毛先を振り上げない。		
		は ひ と 掃きごとに床に自在ぼうきを軽くたたきつけ、 けさき 毛先についたほこりを落としながら作業を進める。		
		はば き つくえ あし あ は 幅木や 机 の脚に、ほうきを当てないように掃く。		
		き じゅんばん は すす ちゅうおう あつ 決められた順 番で掃き進め、中央にごみを集める。		
		むり のない姿勢で、正しい構えで掃き進める。		
	ごみ処理	ぶんか 文化ちりとりの中に、ほうきの先を半分入れるようにしてごみを取る。		
		と のこ 取り残しがないようにごみを取る。		
5 点検	①	と のこ 取り残しはないか確認し、取り残しているごみがあれば取る。		
片付け 6	①	しょう どうぐ すべ しきざいおきば 使用した道具を全て資機材置場に戻す。		
作業全体 7	①	てきせつ 適切な声の大きさ・態度で挨拶や報告をする。		※発語がない場合は手を挙げる等
	②	こうどう きびきびとした行動で、スムーズに作業を進める。		あいず 合図する。
かかった時間		ぶん 分	びょう 秒	〇の数

コメント

きゅう 級

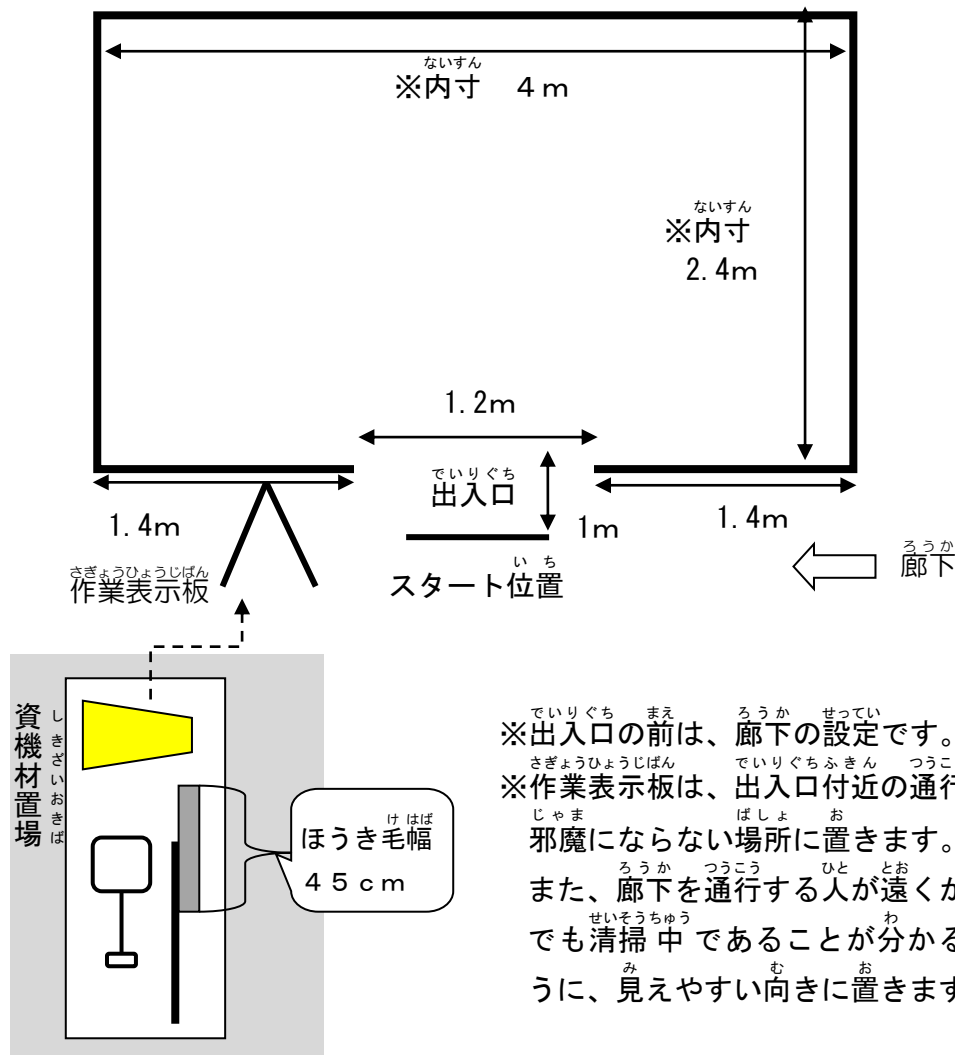
〇の数	1,2	3,4	5,6	7,8	9,10	11,12	13	14	15	16
きゅう 級	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1

- できていない評価項目に☑を入れます。評価欄の枠内の全ての課題がクリアできれば〇がつきます。
- 制限時間6分を超えた場合は、その時点で検定を中止し、級外とします。

ば せってい じざい ≪場の設定≫ 自在ぼうき

- 1 テープ又は幅木により区画されたおよそ $2.4\text{m} \times 4\text{m}$ の範囲を試技コートとします。
- 2 テープ又は幅木の上には壁があるものとして作業を行います。
- 3 テープを使用して試技コートを設定した場合
試技中にゴミが試技コートの外に出た場合、適切にゴミを試技コート内に掃き入れて集めることとします。
- 4 床におがくずをまいて行います。(おがくずは、少し湿らせた細かい目のものを使用。)
- 5 資機材について
ほうきは、自在ぼうき(毛幅 45cm のもの)を使用します。

はいちず かいじょう つごう へんこう
 配置図(会場の都合で変更することがあります。)



↑シート上で準備をします。